



女子サッカー部報告

COMPILATION TOIN

関西高等学校女子選手権大会

全国の切符をかけて

関西予選で惜しくも大商学園に敗れる

第17回関西(近畿)高等学校女子選手権大会兼全日本高等学校女子選手権大会関西予選は6月21日滋賀県守山市野洲川歴史公園サッカー場(ビックレイク)で行われ大阪桐蔭高校は1回戦で大商学園(大阪第2代表)に敗れ、2年連続の全国大会出場を逃した。大阪予選決勝では大商学園を破ったが、フリー抽選で再び大阪桐蔭戦のくじを引いた大商学園が雪辱を果たした形になった。

◇1回戦(6月21日、野洲川歴史公園)ゲームスローガン「Return The Favor(恩返し)」()は前半の記録

大阪桐蔭高校 0-2(0-1)大商学園 (35分ハーフ)【得失点】15分失点、58分失点

負けたら終わる大事な一戦だった。1年生はみろくの里研修で来る事はできなかったが、多くの方が応援に駆けつけた中運命の試合は行われた。

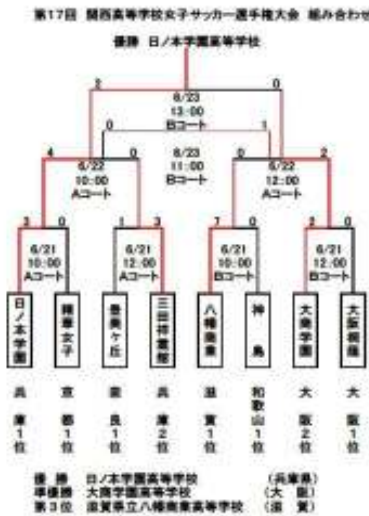
立ち上がりから均衡した試合となった。何度かチャンスをつくる大阪桐蔭だが決めることができず流れは大商学園に傾いていった。その矢先前半15分大阪桐蔭のミスから失点してしまう。まだまだ時間はあったものの「逆に弱い」という従来からの課題が浮き彫りになってしまいなかなか流れを変えることができない。攻勢に出て勢いついてくると今度は、決定力不足が目立ちシュートを打つが得点が奪えない歯がゆい時間帯が続いた。

後半も大阪桐蔭が攻撃を仕掛けるが大商学園は必死で守る。後半23分大阪桐蔭は相手の速い攻撃からクリアが小さくなりそのミスを見逃さなかった大商学園が決定的な追加点をあげた。

最後まであきらめず必死で戦い抜いたが、結果は2-0で敗れ全国の切符を勝ち取ることはできなかった。

残念ながら創部3年で全国優勝という目標へはたどりつかなかったが、この試合で負けて流した涙を決して無駄にしないよう力に変え自分たちでもっと厳しい環境を作っていきたいといけないうこと、全国優勝はそ

んなに甘くないということを改めて痛感させられた。



ミニ国体

大阪府国体選手として大阪桐蔭高校から、柴田真奈未、田中由女、古木愛佳が選出された。関西2府4県の代表が8月15日から滋賀県で行われるミニ国体に参加し優勝チームが9月28日から大分県で行われる国民体育大会に参加できる。

U-18日中韓

7月11日~13日、長居陸上競技場で、日本代表U-17、大阪府代表U-18、韓国代表U-18、中国の上海代表U-18が集まり2002FIFAワールド

カップTM記念事業大阪国際サッカーフェスティバル2008第4回日・中・韓国国際女子サッカー(U-18)大会が開催された。大阪桐蔭から、柴田真奈未、村川紗貴、佐々木奈月、佐藤絵里、田中由女、斎藤玲奈、倉田真由花、山田陽子、六車美紀、古木愛佳、田中姿帆、安食友貴、佐藤利奈、松井美樹の14人が参加した。大会は上海が優勝した。

また、大会初日には大阪桐蔭女子サッカー部が大会運営を行いすばらしい働きを見せ好評を得た。

なでしこリーグ運営・観戦

7月6日高槻萩谷総合運動公園でなでしこリーグ2008ディビジョン1INA Cvs浦和と、ディビジョン2FC.高槻vs清水第八が行われ、大阪桐蔭は運営STAFFとして協力した。

普段なにげなく選手として試合に参加しているが、これほどたくさんの人の協力があって初めて試合ができるのだということ改めて肌で感じ、これから自分たちの試合が行われるときにどうして行かないといけないうかをよく考える機会になった。

FC高槻vs清水第八の試合では、安田コーチがバニーズ時代共に戦ったFC高槻伊丹絵美さんの連続100試合出場を記念し、花束をあげたり3年生が出し物をしたりとても盛り上がった1日となった。

100試合出場達成のFC高槻伊丹選手と記念撮影をするイレブンと安田コーチ



【練習試合結果】

▼6月8日(日)大阪桐蔭高校グラウンド0-14スペランツァ(30分5本) ▼7月5日(土)大阪桐蔭高校グラウンド16-0枚方HINO小学6年生男子(25分3本)